

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

6年5月7日

(あて先) 姫路市長

姫路市役所
受付
-6.5.-7
産業廃棄物対策課

提出者
住所
兵庫県姫路市飾磨区構一丁目115-1

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
住徳建設 株式会社
代表取締役 松原 康浩
電話番号
079-234-3100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

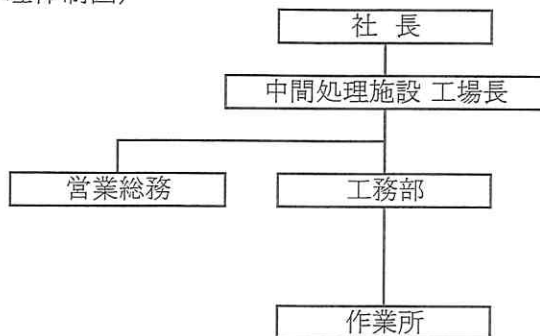
事業場の名称	住徳建設 株式会社
事業場の所在地	姫路市飾磨区構一丁目115-1
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類 D 建設業 (062 063 072)
② 事業の規模	3.5億円
③ 従業員数	10人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場 アスコン殻 コンクリート殻 木くず 混合廃棄物 収集運搬委託 収集運搬委託 収集運搬委託 収集運搬委託 中間処理(破碎) 処理場委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物責任者 中間処理施設 工場長

- ・廃棄物処理計画の作成
- ・廃棄物処理業者の選定・管理
- ・廃棄物処理業者の調査・把握
- ・監督官庁への各種報告
- ・社員、関連会社の教育、指導

産業廃棄物契約担当者 作業所長

- ・委託契約の締結
- ・産業廃棄物施設(収集運搬・処理場)の許可確認
- ・マニフェスト交付状況集計

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	一覧表に記載	
	排 出 量	8884.03 t	t
	(これまでに実施した取組) 分別による処分		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	一覧表に記載	
	排 出 量	974 t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別による処分		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類ごとに分別し搬出
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類ごとに分別し搬出

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1144.96 t	7694.26 t
	(これまでに実施した取組) 中間処理施設により破砕し、再生骨材を製造し再生合材、再生砕石の材料として利用する。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	850 t	110 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き現状の取組をを行う。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	44.81 t	t
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14 t	110 t
	(これまでに実施した取組) 中間処理施設により破碎し、再生骨材を製造し再生合材、再生砕石の材料として利用する。		
	(今後実施する予定の取組) 引き続き現状の取組をを行う。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	0	0
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行っ た産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	0	0
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	一覧表に記載	—
	全処理委託量	9.637 t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	9.637 t	t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) _____		

(第5面)

②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	一覧表に記載	—
	全処理委託量	6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別添 一覧表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

実績：前年度（ 5 年度）実績量

目標：今年度（ 6 年度）目標量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の② +⑧)		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により 減量する産業廃棄 物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の③ +⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者 への 処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者へ の 処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
0600 廃プラスチック類	3.325	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.325	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0700 紙くず	0.24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.24	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0800 木くず	3.19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.19	1	0	0	0	0	0	0	0	0
1200 金属くず	1.582	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.582	1	0	0	0	0	0	0	0	0
1300 ガラスくず、コンクリート及び陶	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0200 汚泥	0.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
1500 がれき類	44.81	14	0	0	0	0	44.81	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1501 コンクリート破片	7694.26	110	0	0	0	0	7694.26	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1502 アスファルト・コンクリート破片	1144.96	850	0	0	0	0	1144.96	850	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8893.667	980	0	0	0	0	8884.03	974	0	0	9.637	6	0	0	0	0	0	0	0	0